



大野市教育委員会たより

令和元年7月25日発行 第14号

発行 大野市教育委員会教育総務課
〒912-0086 大野市天神町 1-1
電話 0779-64-4827 Fax0779-69-9110
E-mail kyoikusomu@city.fukui-ono.lg.jp

近年、情報化やグローバル化といった社会的変化が、私たちの予測を超えて進展しているなど、学校を取り巻く環境が大きく変化しています。

そのような中、大野市教育委員会では、将来を担う子どもたち一人一人が自分に対する「自信」を持って楽しく学校に通い、学力等の充実を図ることができるようにするために、より良い教育環境について、皆さまと一緒に考えていきたいと思っております。ご理解とご協力をお願いいたします。

つきましては、先般、開催いたしました「教育環境に関する意見交換会」の結果概要について、お知らせします。

開催日：7月23日（火）午後7時～9時30分
場 所：乾側小学校体育館
対象者：乾側小学校保護者（出席者6人）
次 第 ・教育長挨拶
・1部 説明 「大野市の教育について」
・2部 意見交換「大野市の教育環境について」

※以下は、「2部 意見交換」で保護者の皆さまと意見交換させていただいた『主な内容』です。

※保護者からの意見を◎、教育委員会の意見を■で表示しています。

◎小学校に在学している保護者の意見も大事だが、学校再編で一番心配しているのは、未就学児の保護者である。なぜ、一緒に意見を聞かないのか。

⇒ ■意見交換会は、小中学校・保育所・認定こども園の保護者、各地区の方々を対象に行うこととしており、それぞれの立場で意見を聞くこととしている。

⇒ ◎未就学児の保護者と小学校の保護者では、学校再編に対してかなり意見が違う。認識が甘いのではないか。

⇒ ■未就学児の保護者と一緒に話をしていきたいと要望があれば、合同の意見交換会を開催していきたい。まずは、学校に通わせている保護者が教育環境について、どういう思いでいるかを把握したいと思っている。

⇒ ◎乾側小の内情を理解しているのではあれば、未就学児と小学校の保護者を一緒にして意見交換会をすべきであった。

◎最近、乾側地区に住んでいる人で下庄小や有終西小へ入学する子どもが多い。いつから選択制になったのか。

⇒ ■指定学校が変わるための基準がある。変更基準には、いろいろあるが、自宅から学校までの通学距離も含まれている。保護者からの申請に基づき、基準に沿って許可している。広報おのの10月号にも指定学校の基準を掲載し周知している。

⇒ ◎来年入学を予定している子どもは、いつまでに学校が決まるのか。

⇒ ■就学を予定している学校の通知（入学通知書）は毎年2月に送付している。基準は4月1日時点の住所となり、その住所がある学校に行くことになる。3月31日でも学校を変更すること

は可能である。乾側小だけでなく、他の学校においても指定学校の変更申請は提出されているが、変更基準に合わないために、学校を変更していない子どもはたくさんいる。簡単に学校を変更することはしていない。それよりも何故、保護者が学校を変更したいのかを考えないといけない。

⇒ ◎小さい学校は駄目であるという考えが未就学児の保護者にある。

⇒ ■保護者それぞれの考え方が違う。その違いを地域が認めていくこと、一緒に考えていくことが必要と思う。

◎教育委員会が理想とする教育を実現するためには、学校があまり大きすぎても駄目であると思った。自分が遠距離通学をしていたため、子どもには学校へ歩いて通わせたかった。最初は同級生が少なく不安だったが、地域との連携により、自分の意見を言える子どもに育った。

⇒ ■話す順番などは小さい学校の方がたくさんある。

⇒ ◎小さい学校では、どんなときでも自分が前に立たないといけない。それが自信につながっている。先生がきめ細かに見てくれるので学習が遅れることはない。小さすぎるのは良くないとは思っている。

⇒ ■学校再編は慎重に丁寧にやっていきたい。

◎少人数がいいのか、大人数がいいのかは分からない。友だちの数を考えた時、大きい学校の方が良いと考えたが、実際、乾側小に通わせることで良い学校であると感じた。丁寧に学習を見てもらえる。上の学年の子どもたちが世話をしてくれる。

入学時に、同じ保育園に通っていた同じ校区の友だちが下庄小へ校区変更で入学することになり、子どもが寂しそうにしていた。入学する子どもが0人になれば学校がなくなるのではないかと心配している。

出来る限り、学校を残してほしい。未就学児の保護者では、乾側小に行かないという方が多く寂しい気持ちである。

◎乾側小の教育に不満はない。1人1人が先生から見てもらっている。他の学校にはない経験やスキルを学ばせてもらっている。下庄小などの子どもが乾側小へ入れるようなパターンがあるのではないかなと思う。未就学児の保護者と在校生の保護者の意見は、平行線であると感じている。今日の意見交換会に来れなかった保護者の意見を聞く方法を考えて欲しい。

⇒ ■今後、乾側地区の方々を対象に意見交換会を行うため、来れなかった保護者の方は来ていただきたい。来れなかった保護者の方で話をしたいということであれば、再度意見交換会を開催する。



お仕事等でお忙しい中、ご出席いただきました保護者の皆さま、ありがとうございました。
紙面の関係上、割愛している部分がございます。ご了承をお願いします。
本日より、大野市ホームページにも掲載を予定しています。

